

2023年度

特定非営利活動法人  
越谷にプレーパークをつくる会

## 総会資料



日時：2023年5月28日（日）

午前10時～

場所：北部市民会館 第1会議室

## 総会次第

- 1 開会の言葉
- 2 議長・書記・議事録署名人の選出
- 3 議事
  - 第1号議案 2022年度事業報告
  - 第2号議案 2022年度決算報告 及び 会計監査報告
  - 第3号議案 2023年度役員承認
  - 第4号議案 2023年度事業計画案
  - 第5号議案 2023年度活動予算案
- 4 質疑応答
- 5 閉会の言葉

## 2022年度 事業報告

### 特定非営利活動法人越谷にプレーパークをつくる会

#### 1 事業の成果

新型コロナウイルスの感染拡大に注意しながらすべての事業を予定通り終了することができました。越谷市プレーパーク事業では、大袋原っぱ公園の工事に伴い8月より越谷総合公園での開催となり、今までとは違うプレーパークファンが集まってくるようになっていきます。今後の当法人の新しい事業として車両に遊び道具を詰め込んで様々な屋外空間で遊び場づくりを行う事業（おちかくプレーパーク）の準備を始めました。講演会で学び、越谷市のガバメントクラウドファンディングにチャレンジし車両購入のための資金（73万8千円）を得ることができました。

越谷市放課後子ども教室事業では、社会人や高校生のボランティアがプレイリーダー役となって活躍しました。また越谷市プレーパーク事業では、長年活躍したプレイリーダーに変わって新しい人材が活動するようになりました。

遊びの場だけでは多様化する子どもの社会課題に対応するのが難しいことから、市内の様々な団体との連携できるしくみづくりに取り組み「越谷こどもサポートネットワーク」を設立することができました。

#### a プレーパークの運営に関する事業

##### ・越谷市プレーパーク事業

雨天により中止、振替となった回もありましたが24回実施することができました。

8月より越谷総合公園に開催場所を移動。木陰がたっぷりあることで過ごしやすく、熱中症の対策ができる公園で安心して過ごすことができました。樹木が多数あることで、ロープ遊具を設置しやすく、自然素材や生き物が多数見られます。原っぱ公園とは異なる環境を味わうことができている。ただ、子どもだけでは遊びに行きにくい場所であり、イベントと重なると駐車場が混雑するなどの課題が見られました。ベテランプレイリーダーと意欲的な新人プレイリーダー、スタッフ、参加者、みなでともにつくる遊び場を意識して開催しました。

##### ・移動型の遊び場づくり「おちかくプレーパーク」

中央ろうきんからの助成金を得てスーツケースに遊び道具を入れて様々な屋外空間で遊び場づくりを行う事業を合計18回実施しました。10時～12時までの2時間だけの開催であったため乳幼児親子を中心とした参加者455名が外遊びの機会に触れることができました。今後の移動式遊び場の本格始動を見据えて、カフェの前の道での実施やマルシェとのコラボにも挑戦しアンケート調査も行いました。そのほか、9月23日には越谷駅前広場でのイベント参加の依頼を受け、講演会で講師をお願いした星野諭氏にオリジナルカーを出动させていただき遊び場づくりを行いました。今後の私たちの活動モデルとして参考になる開催となりました。また三郷市からプレーパークの開催依頼を受け、11月26日に実施しました。

#### b 子ども遊び環境に関する普及・啓発事業

##### ・広報活動

年3回の広報紙の発行（第64号～66号）。公式ホームページの運用。Facebook、LINEによる情報提供。

ブログで参加者やスタッフの声を発信。

##### ・大袋地区センター 乳幼児講座事業

昨年度と同様にプレイワーカーの早川氏を講師に、乳幼児期に欠かせない外遊びの大切さや魅力について、室内講座＋実践となる外遊び2回を企画しました。内、1回は雨天のため大会議室で行いましたが、大きな紙を敷きつめて絵の具遊びをしたり、段ボールあそびを実施し室内でもダイナミックに遊びが展開されました。参加者の中には「自宅周辺の公園は誰も遊んでいなくて、この講座で同年代の子に会えた。子ども同士で遊んでいる様子に安心した。」という方も複数いました。講座をきっかけに親交を深めたママ達もいて、仲間づくりの一役を担うことができました。また、一部のママたちと今後の幼児の遊び場に繋がる関係性もできました。

##### ・講演会

「どこでも遊び場～移動式遊び場の可能性」と題してオンライン講演会を実施しました。講師に移動式遊び場全国ネットワーク代表の星野諭氏、一般社団法人SSK会長の須藤昌俊氏をお招きして、移動式遊び場づくりとは何か、子どもたちや地域にどんな効果をもたらすのかを具体的な事例の紹介も交えてご講演いただきました。オンラインであったことから、越谷市民だけでなく全国から参加者があり、移動式遊び場づくりへの関心の高さがわかりました。

## C 子どもに関わる人材育成に関する事業

### ・ちびころ

大袋原っぱ公園の整備事業に伴い、千間台第四公園に場所を移し開催しました。

当初参加者がなかなか集まりませんでした。北越谷の香取神社で開催されている「ままマルシェ」で数回チラシ配りを実施。回数を重ねるうち常連参加者も見られるようになり、近隣住民を中心に徐々に賑わいを見せるようになりました。

子どもたちはやってみることに挑戦し、保護者は参加者同士でおしゃべりを楽しみゆっくり過ごす姿が見られました。

また、遊び場づくりを主体的に関わっていききたい、という参加者も見られ実りのある活動となりました。

### d 地域の居場所づくりに関する事業

#### ・越谷市放課後子ども教室 プレーパーク教室（登録者数35名）

前年度に引き続き感染症対策を行いながらの開催でした。「外で遊ばせたい」と言う保護者の声が多く聞かれました。登録児童の参加人数が多く、その兄弟姉妹の参加者も多かったです。文教大学からの依頼で3か月にわたり15名の学生をボランティアとして受け入れをしました。またガバメントクラウドファンディング等の話をきっかけに保護者にプレーパークの理解を促しました。

### e 地域や他団体との交流事業

#### ・越谷こどもサポートネットワーク

8月28日に市民活動支援センターの公募事業（caféTOMO）を活用して越谷市内で子ども支援を行う団体同士のネットワーク組織づくりの呼びかけを行い交流の機会をつくりました。その後幹事団体として団体の立ち上げに取り組み、2023年1月29日の設立総会を開催できました。この間に埼玉りそな銀行からの拠点（りそなYOUTHBASE）提供もあり中高生の居場所づくりについても取り組み始めました。12月にクリスマス会を埼玉りそな銀行と一緒に開催しました。

#### ・埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会（さぼれん）プレイリーダー基礎研修2022 受講生受け入れ

今年度でさぼれんで開始したプレイリーダーのための研修プログラムの現場実習先として受講生の受け入れを行いました。現場実習では当法人よりトレーナーを選出し人材育成の一躍を担いました。

## 2 事業の実施に関する事項（2022年4月1日～2023年3月31日）

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
プレーパークの運営に関する事業	越谷市プレーパーク事業	毎月第1土・日曜日 全24回11時～16時	大袋原っぱ公園 越谷総合公園	151	不特定	1178	960
	おちかくプレーパーク	概ね第1、第3木曜日 日全18回	湖畔の森公園・レイクタウン 大芝生広場・七左第4公園、ま ち蔵前、新町本町ふれあい広 場	68	就学前の 親子や 地域住民	455	501
		9/23	越谷駅前広場	12	不特定	800	99
		11/26	早稲田公園	2	不特定	20	42
子どもの遊び環境に関する普及・啓発事業	HP、ブログ、SNSによる発信	必要時	担当者による		不特定	多数	0
	通信の発行、発送	年3回	事務所	7	会員他	2700	12
	大袋地区センター乳幼児講座事業	9/29,10/13,10/27	大袋地区センター 恩間第2公園	16	就学前の 親子	56	69
	講演会「どこでも遊び場～移動式遊び場の可能性」	7/2 9:30～12:00	オンラインZOOM	6	興味のある 方	55	117
	文教大学オンライン授業への参加	12/13	オンラインZOOM	1	文教大学生	多数	13
子どもに関わる人材育成に関する事業	乳幼児親子の外遊び ちびころ	概ね第3火曜日全10回	千間台第4公園 北部市民会館	43	就学前の 親子	144	15
地域の居場所づくりに関する事業	越谷市放課後子ども教室 プレーパーク教室	第3土曜日 全9回13時～16時	東越谷第7公園	74	小学生 他	237	1
地域や他団体との交流事業	越谷こどもサポートネットワーク	8/28 caféTOMO	市民活動支援センター	2	子ども支援 団体など	21	8
		12/11 クリスマスイベント	りそなYOUTH BASE	4	小学生 他	11	1
	さぼれんプレイリーダー基礎研修現場実習受け入れ	6/4,8/6,9/3,9/4, 11/26,12/3	越谷総合公園ほか	6	受講生	13	0

# 2022年度 活動計算書

令和4年 4月 1日から 令和5年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員 (31名)	62,000	
賛助会員 (8名)	41,000	103,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	221,767	221,767
3 受取助成金等		
受取助成金	580,000	580,000
4 事業収益		
プレーパーク事業	150,000	
遊び環境啓発事業	23,000	
人材育成事業	300	
地域の居場所づくり事業	0	
地域・他団体との交流事業	15,000	188,300
5 受託事業収益		
プレーパーク事業	960,000	
遊び環境啓発事業	70,000	1,030,000
6 その他の収益		
受取利息	12	
雑収益	0	12
経常収益計 (A)		2,123,079
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
プレーリーダー費	991,000	
交通費	2,000	
支払謝礼	90,000	
保育費	4,800	
事務局費	0	
人件費計	1,087,800	
(2) その他の経費		
交通費	12,300	
支払い謝礼	384,119	
事務局費	96,000	
業務委託費	60,000	
消耗品費	74,200	
保険料	4,601	
会場会議費	2,300	
広告宣伝費	29,700	
印刷製本費	36,986	
通信費	32,428	
渉外費	0	
支払寄付金	0	
支払手数料	17,270	
その他の経費計	749,904	
事業費計		1,837,704

2 管理費			
(1) 人件費			
交通費	0		
事務局費	0		
人件費計	0		
(2) その他の経費			
消耗品費	22,261		
会場会議費	900		
広告宣伝費	0		
印刷製本費	1,660		
通信費	17,468		
渉外費	21,000		
研修費	0		
支払手数料	592		
公租公課	600		
雑費	3,280		
減価償却費	8,290		
その他経費計	76,051		
管理費計		76,051	
経常費用計 (B)			1,913,755
当期経常増減額 (A - B)			209,324
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計 (C)			0
Ⅳ 経常外費用			
過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計 (D)			0
当期正味財産増減額① (A-B+C-D)			209,324
前期繰越正味財産額②			1,204,071
次期繰越正味財産額 (①+②)			1,413,395

## 計算書類の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

### 2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	事業別損益					事業部門計	管理部門	合計
	プレーパーク	遊び環境啓発	人材育成	地域の居場所	地域交流			
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	103,000	103,000
2. 受取寄附金	114,000	0	4,600	0	0	118,600	103,167	221,767
3. 受取助成金等	480,000	93,000	0	0	7,000	580,000	0	580,000
4. 事業収益	150,000	23,000	300	0	15,000	188,300	0	188,300
5. 受託事業	960,000	70,000	0	0	0	1,030,000	0	1,030,000
6. その他収益	0	0	0	0	0	0	12	12
経常収益計	1,704,000	186,000	4,900	0	22,000	1,916,900	206,179	2,123,079
II 経常費用								
(1) 人件費								
プレーリーダー費	991,000	0	0	0	0	991,000	0	991,000
交通費	0	0	0	0	2,000	2,000	0	2,000
支払謝礼	0	90,000	0	0	0	90,000	0	90,000
保育費	0	4,800	0	0	0	4,800	0	4,800
事務局費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	991,000	94,800	0	0	2,000	1,087,800	0	1,087,800
(2) その他経費								
交通費	2,300	0	9,000	0	1,000	12,300	0	12,300
支払い謝礼	347,619	36,500	0	0	0	384,119	0	384,119
事務局費	96,000	0	0	0	0	96,000	0	96,000
業務委託費	60,000	0	0	0	0	60,000	0	60,000
消耗品費	55,055	10,863	6,137	330	1,815	74,200	22,261	96,461
支払保険料	5,000	0	▲ 399	0	0	4,601	0	4,601
会場会議費	1,800	0	500	0	0	2,300	900	3,200
広告宣伝費	0	29,700	0	0	0	29,700	0	29,700
印刷製本費	13,386	23,180	220	0	200	36,986	1,660	38,646
通信費	16,314	11,746	0	0	4,368	32,428	17,468	49,896
渉外費	0	0	0	0	0	0	21,000	21,000
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	15,840	1,430	0	0	0	17,270	592	17,862
公租公課	0	0	0	0	0	0	600	600
減価償却費	0	0	0	0	0	0	8,290	8,290
雑費	0	0	0	0	0	0	3,280	3,280
その他経費計	613,314	113,419	15,458	330	7,383	749,904	76,051	825,955
経常費用計	1,604,314	208,219	15,458	330	9,383	1,837,704	76,051	1,913,755
当期経常増減額	99,686	▲ 22,219	▲ 10,558	▲ 330	12,617	79,196	130,128	209,324

### 3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
倉庫	111,494			111,494	8,290	103,204

### 4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は 1,413,395 円ですが、そのうち 114,000 円はプレーパーク事業におけるオリジナルカーの購入・制作に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は 1,299,395 円です。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
オリジナルカー購入・制作への寄附	0	114,000	0	114,000	

## 貸借対照表

令和5年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,399,441		
未収金	120,000		
前払金			
流動資産合計		1,519,441	
2 固定資産			
備品	103,204		
固定資産合計		103,204	
資産合計 (A)			1,622,645
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金 (次年度会費)			
前受助成金			
未払金	199,859		
預り金	9,391		
流動負債合計		209,250	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			209,250
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,204,071	
当期正味財産増加額 (減少額)		209,324	
正味財産合計 (C)			1,413,395
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			1,622,645



## 財産目録

令和5年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,380,495		
手元現金	18,946		
栃木銀行普通預金	0		
ゆうちょ銀行	0		
未収金	120,000		
前払金			
流動資産合計		1,519,441	
2 固定資産			
備品	103,204		
固定資産合計		103,204	
資産合計 (A)			1,622,645
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金 (次年度会費)			
前受助成金			
未払金	199,859		
預り金	9,391		
流動負債合計		209,250	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			209,250
正味財産 (C) = (A) - (B)			1,413,395

## 監査報告書

2023年 4月 27日

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会  
代表理事 淵野 彩子 殿

監事

會田 皓章 

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人越谷にプレーパークをつくる会の2022年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査をおこなった。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2022年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人越谷にプレーパークをつくる会の2023年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認める。

以上

## 役員名簿

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会

役名	氏名
理事	淵野 彩子
理事	星野 久美子
理事	川村 久美
理事	金森 幸
理事	栗田 彩子
理事	戸澗 睦子
理事	平田 尚子
監事	會田 皓章

## 2023年度 事業計画

### 特定非営利活動法人越谷にプレーパークをつくる会

#### 1 事業の方針

これまでの事業を継続しつつ、次年度以降の事業の準備の年度と位置づけ活動していきます。越谷市プレーパーク事業では令和6年度から開始する市の事業を受託できるように準備を進めます。また移動型の遊び場づくり事業では、オリジナルカーづくりのために車両を購入し、搭載する遊び道具の準備をすすめます。

越谷こどもサポートネットワークの会員団体としてりそなYOUTH BASEが中高生の居場所となるよう他の団体と連携して事業を進めていきます。

#### a プレーパークの運営に関する事業

##### ・越谷市プレーパーク事業

越谷市が令和6年度より越谷市プレーパーク事業を現在の越谷総合公園での開催から、移動式の遊び場づくりに移行する計画があることに伴い、本年度は別の場所での開催数を増やして実施する予定です。全25回。

##### ・移動型の遊び場づくり事業（おちかくプレーパーク）

昨年度のカバメントクラウドファンディングで寄附された資金をもとにオリジナルカーづくりに着手します。具体的には車の購入、搭載する遊び道具の準備、遊びのキットづくりに取り組み、2024年度の本格始動に向けて準備を進めます。準備をすすめながらも昨年度まで実施していたスーツケースでの遊び場づくりも継続し、市民の外遊びの機会をつくる活動を進めていきます。また千間台第4公園で実施していた乳幼児親子を中心とした外遊び事業（ちびころ）も今年度から本事業として実施します。カバメントクラウドファンディングに引き続き取り組みます。

#### b 子ども遊び環境に関する普及・啓発事業

##### ・広報活動

広報紙を年3回発行（第67号～69号）。

FacebookやLINEによる情報提供。新たにInstagramでの情報提供にも取り組みます。

ブログで参加者やスタッフの声を発信。公式ホームページの運用

##### ・大袋地区センター 乳幼児講座事業

昨年同様講師を早川七海氏に依頼し、座学と実践となる外遊びの全3回を予定しています。西大袋区公園整備工事が続いている為、今年度も恩間第二公園で開催する予定です。乳幼児期に欠かせない外遊びの大切さと魅力を伝えるとともに、子育て世代のママたちの交流の機会をつくります。講座終了後の受け皿となるおちかくプレーパークin千間台第4公園との連携を図り、自主的な遊び場の輪が広がるようにします。

#### c 子どもに関わる人材育成に関する事業

##### ・おちかくプレーパークin千間台第4公園

簡易な遊び道具を持参し、同じ場所で実施するおちかくプレーパーク事業を通して、そこに参加する子育て世代を中心に担い手の育成にも取り組みます。現場でのプレイワーク、通信やブログの原稿作成、新たな企画提案を促し、今後も活動の担い手として参加する人材として育成していきます。

d 地域の居場所づくりに関する事業

- ・越谷市放課後子ども教室 プレーパーク教室

感染症の影響がぬぐいきれませんが、対策の制限がかなり緩和される事が予想されます。遊び慣れてきた子ども達とコミュニケーションをとりながら（指導員、ボランティア間も）更に遊びが広がるようにしていきます。また次年度へのプレーパーク事業への移行を意識して保護者をまき込んだ教室開催を心がけます。毎月第3土曜日 6～3月全10回 募集人数30名 引き続き昼食後の参加。13時～16時

e 地域や他団体との交流事業

- ・越谷こどもサポートネットワーク

引き続き幹事団体として越谷市内の子ども支援団体の交流・研修の機会をつくるため積極的に協力して活動します。毎月第2水曜日の15時～20時にりそなYOUTHBASEで実施する中高生の居場所づくり事業に他の団体とともに取り組みます。

- ・埼玉冒険遊び場づくり連絡協議会のプレイリーダー研修に協力

5月～12月まで実施されるこの研修プログラムの現場実習先として協力を行います。（全6回の予定）

当法人よりトレーナー役を選出し、受講生の指導にあたります。

2 事業の実施に関する事項（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額(千円)
プレーパークの運営に関する事業	越谷市プレーパーク事業	概ね第1土日 全25回11時～16時	越谷総合公園 レイクタウン芝生広場	125	不特定	1200	1,000
	移動式遊び場事業 (おちかくプレーパーク)	概ね第1木曜日 4月～10月	レイクタウン芝生広場、七左第4公園ほか	21	不特定	150	314
		概ね第3火曜日 8月を除く4月～3月	千間台第4公園	44	不特定	220	360
		10月末から11月に2回	越谷市内の公園など	20	不特定	200	473
子どもの遊び環境に関する普及・啓発事業	SNS、ブログ、HPによる発信	必要時	担当者による	10	不特定	多数	0
	通信の発行、発送	年3回	事務所	7	会員他	2700	21
	大袋地区センター乳幼児講座事業	全3回	大袋地区センター 恩間第2公園	14	就学前の親子	90	70
子どもに関わる人材育成に関する事業	おちかくプレーパーク in千間台第4公園	概ね第3火曜日	千間台第4公園	33	事業に関わるスタッフ	33	3
地域の居場所づくりに関する事業	越谷市放課後子ども教室 プレーパーク教室	6月～毎月第3土曜日 全10回 13時～16時	東越谷第7公園	50	小学生 他	300	3
地域や他団体との交流事業	越谷こどもサポートネットワーク	毎月第2水曜日	りそなYOUTH BASE	12	中高生他	200	6
	さぼれんプレイリーダー基礎研修現場実習受け入れ	7/1・7/2・9/2・ 9/3・10/7・12/2	越谷総合公園 レイクタウン大芝生広場	6	研修プログラムの受講者	20	18

## 2023年度 活動予算 (案)

2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 越谷にプレーパークをつくる会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	66,000	
賛助会員受取会費	40,000	106,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	65,000	
施設等受入評価益	66,640	131,640
3 受取助成金等		
受取民間助成金	392,000	392,000
4 事業収益		
受取謝礼	0	
自主事業収益	18,000	
受託事業収益	1,070,000	1,088,000
5 その他収益		
受取利息	12	
雑収益	738,000	738,012
経常収益計 (A)		2,455,652
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
プレーリーダー費	1,050,000	
交通費	16,500	
支払謝礼	40,000	
保育費	10,300	
人件費計	1,116,800	
(2) その他経費		
交通費	10,200	
支払謝礼	236,500	
事務局費	10,000	
消耗品費	149,000	
保険料	77,000	
会場・会議費	2,700	
広告宣伝費	0	
印刷製本費	24,000	
通信費	36,800	
車両運搬具	51,000	
施設等評価費用	66,640	
研修費	0	
支払手数料	15,700	
減価償却費	472,500	
その他経費計	1,152,040	
事業費計		2,268,840

2 管理費			
(1) 人件費			
事務局	0		
交通費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
消耗品費	17,000		
会場・会議費	900		
広告宣伝費	0		
印刷製本費	1,600		
通信費	10,600		
渉外費	21,000		
研修費	0		
支払手数料	600		
租税公課	19,300		
減価償却費	8,290		
雑費	18,000		
その他経費計	97,290		
管理費 計		97,290	
経常費用計 (B)			2,366,130
当期経常増減額 (A - B)			89,522
Ⅲ 経常外収益			
1 固定資産売却益			
経常外収益計 (C)			0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損			
経常外費用計 (D)			0
① 当期正味財産増減額 (A - B + C - D)			89,522
② 前期繰越正味財産額			1,413,395
次期繰越正味財産額 (① + ②)			1,502,917